

---

## 「7つの課題」：トピックとメッセージ

### 「70億人の世界、7つの課題」：いま、私たち一人ひとりが協力するとき

人類にとって節目となるこの出来事は、重要な挑戦（challenge）であると同時に機会（opportunity）でもある。

#### 1. 貧困と不平等：悪循環を断ち切るために

貧困と不平等の撲滅が人口増加を緩和する。

#### 2. 女性と少女：エンパワーメントが発展を促す

女性と少女への抑圧を無くすことがあらゆる面の発展を加速する。

#### 3. 若者：未来への原動力

エネルギーに満ち溢れ、新しいテクノロジーに対し柔軟で、そして歴史上もっとも強く互いに繋がっている若い世代がグローバルな政治と文化を形成する。

#### 4. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ：全ての命を守るために

全ての子供が望まれて生まれ、出産が安全なものであれば、家族はより小さな規模になるが、より強くなる。

#### 5. 環境：地球環境の保護が、私たちの生活を支えていく

私たち 70 億人と次世代の人々の生活は、地球環境によって左右される。

#### 6. 高齢化：前例のないチャレンジ

出生率の低下と寿命の伸びによっておこる高齢化が、これからの世界規模の課題。

#### 7. 都市化：これから都市はますます大きくなる

これから増える 20 億人が都市に住む可能性に備え、計画する必要がある。

## 「70億人の世界、7つの課題」：いま、私たち一人ひとりが協力するとき

2011年10月に世界の人口は70億人に達する。人類にとって節目となるこの出来事は、重要な挑戦（challenge）であるとともに機会（opportunity）でもある。子どもの死亡率が下がり、人びとの寿命は延び、より健康的な生活を送ることができるようになった今、世界中のカップルが前の世代よりも少ない人数の子どもを持つことを選択している。しかし、世界には未だ大きな格差が存在している。

年間、約7800万人のペースで人口が増加しており、それは、カナダ・オーストラリア・ギリシャ・ポルトガルの4カ国の人口を合計した数に相当する。

人口増加の約97%は開発途上国に集中している。国によっては、既に国民のニーズに応えることが困難になってきており、貧富の差はますます広がっている。未だかつてない数の人々が、食料や水不足、自然災害の被害を受けやすい状態にある。その一方で高・中所得国では、出生率の低下と人口の減少、そして高齢化の対応に迫られている。

健全な地球環境を守っていけるか否かは、私たちが今何を決断するかにかかっている。世界人口が70億人に到達する今は、私たち一人ひとりが協力するときなのである。

1804年：世界人口10億人突破

1927年：20億人（123年後）

1959年：30億人（32年後）

1974年：40億人（15年後）

1987年：50億人（13年後）

1998年<sup>※</sup>：60億人（11年後）

2011年：70億人（13年後）

2025年：80億人（14年後）

2043年：90億人（18年後）

2083年：100億人？（40年後）

※国連人口部は1999年に世界人口が60億人に到達したと発表した。その後の人口統計の改訂により60億人に到達したのは1998年だったと改正した。

世界人口の増加の割合は、徐々に緩慢になっているように見える。しかし37億人の出産可能な年齢層により、今後も数十年にわたって世界人口は増加し続ける。

世界人口が次の 80 億人に達する日、さらに次の 90 億に達する日がいつになるかは、母子保健に関する政策や予算決定、家族計画の普及、女兒教育と女性に対するあらゆる機会の拡大がどのようになされるかにかかっている。

### —最近の傾向—

- 世界の平均寿命は 1950 年の 48 歳から 20 歳延び、69 歳になった。その一方、医療技術の発達と、衛生・保健医療サービスをより多くの人が受けられるようになったため、多くの命が救われるようになり、死亡率は確実に低下した。
- 世界の出生率は最近 50 年間で約半分にまで低下した（国により差はあるものの、1950 年には 1 人の女性が一生の間に産む子どもの数は 5 人だったのに対し、2010 年から 2015 年には 2.5 人に減少した）。しかし、現在の傾向が続くとしても 2050 年までに人類は 90 億人を超え、21 世紀の終わりには 100 億人を超える。
- 世界全体の出生率を見ていると、ともすれば国家間の大きな違いを見失いがちである。日本および、ほとんどのヨーロッパ諸国、シンガポール、ロシアでは 1 人の女性の出生率は 1.5 人以下だが、アフガニスタンや多くのアフリカ諸国では 5 人以上である。このような格差が続けば、世界に大きな変化をもたらしかねない。
- 出生率の違いは、大きな差を生み出す。例えば、ドイツとエチオピアを例にとると、現在のドイツの人口は 8200 万人であり、エチオピアの 8300 万人とほぼ同数である。しかし、ドイツは女性 1 人の出生率は 1.4 人であるのに対し、エチオピアは 4.6 人である。したがって 2050 年までにドイツの人口は 7500 万人に減少すると見込まれているのに対し、エチオピアはその 2 倍の 1 億 4500 万人にまで増加すると見込まれている。

### —21 世紀の新しい課題—

1998 年に世界人口が 60 億人に達して以来、経済、政治、環境問題が人口増加と人口変動に大きな影響を与えている。

- コミュニケーション革命は世界中に広がり、携帯電話技術やソーシャル・メディアは、草の根のニュースやコメントを世界に向けて瞬時に発信することができるようになった。インターネット産業はグローバルな規模の消費、人々の移動と貿易の在り方を変えた。

- 中国は、国際的な人口動態、経済そして環境の分野など、あらゆる面で確固たる立場を築いた。例えば、2001年9月11日の同時多発テロ以降、世界におけるアメリカの位置付けが変わり、世界の政治、紛争地域、そして人口移動の流れが様変わりした。
- ミレニアム開発目標（MDGs）により、貧困撲滅は世界の指導者たちの最優先事項となり、特に女性のリプロダクティブ・ヘルスは、MDGs 達成の鍵とみなされている。
- 2008年から2010年にかけての世界経済の低迷は、食糧価格の高騰を引き起こし、開発途上国の将来展望を鈍らせ、国際援助の流れを減速させた。
- 家族計画に対する国際援助は2002年のピーク期には7億ドルだったのに対し、現在は4億ドルと停滞している。
- HIV/AIDS は、必要な薬と医学的なケアさえあれば治療可能な慢性疾患となった。しかしながら貧困国では HIV/AIDS は何百万もの人々の間で感染し、未だ致命的な病気とみなされている。
- 気候変動は、世界の人々の生活にあらゆる面で影響を与えるものとなる事がより現実になった。